

令和5年7月14日

鉄道局都市鉄道政策課

三大都市圏の平均混雑率が増加

～都市鉄道の混雑率調査結果を公表（令和4年度実績）～

令和4年度の三大都市圏における平均混雑率^注は、東京圏：123%、大阪圏：109%、名古屋圏：118%となり、東京圏は15ポイント、大阪圏は5ポイント、名古屋圏は8ポイントの増加となりました。

本調査は、通勤通学時間帯における鉄道の混雑状況を把握するため、毎年度実施しているものです。

【三大都市圏主要区間の平均混雑率（令和4年度実績）】 ※カッコ内は昨年度調査の混雑率

| 東京圏 | 大阪圏 | 名古屋圏 |
|-------------|-------------|-------------|
| 123% (108%) | 109% (104%) | 118% (110%) |

（注）混雑率：最混雑時間帯1時間の平均（主に令和4年10月～11月の1日又は複数日の乗車人員データを基に計算したもの）

〈添付資料〉

- ・資料1：三大都市圏の主要区間の平均混雑率の推移（2022）
- ・資料2：三大都市圏の主要区間の混雑率（2022）
- ・資料3：都市部の路線における最混雑区間の混雑率（2022）

なお、主な鉄道事業者の混雑状況等については、各鉄道事業者のウェブサイトにおいて紹介しております。

連絡先：鉄道局都市鉄道政策課 鈴木、稲垣
代表：03-5253-8111（内線：40454）
直通：03-5253-8535